

No.478  
2023年  
11月2日  
(月)

# つくしんぼ

11月号  
(霜月)  
文責：瀧口

11月です。学習発表会のシーズンですね。ことばの教室に通ってきている子ども達にとって、不安になりやすい学校行事です。そんななか、通級している児童の担任の先生方は、役の希望を聞いてくださったり、せりふが言いやすい音で始まるか、チェックしてくださったりしていました。ありがとうございます。



こんな風に「話す」ことが当たり前の毎日で、つらい思いを抱えている子がいるかもしれないということを忘れずにいていただきたいと思います。

## 先輩のお話を聞こう



10月下旬、吃音のある児童を対象に「先輩のお話を聞く会」を開きました。先輩は、小学校時代「ことばの教室」に通っていた方です。アイスブレイクのゲームの後、先輩には経験や思っていることとお話しいただきました。低学年の児童には少し難しかったかもしれませんが、みんな真剣に聞いていました。高学年の児童には心に残るものがあったようです。中学生になると「ことばの教室」はありません。自分で吃音とのつきあい方、将来を考えていなくてはなりません。そんな時、家族以外にも仲間がいることは『お守り』になるのではないかと思います、この会を企画しました。



### ～お話から～



- ・「吃音が出たら、いやだな。はずかしいな。」と思うかもしれない。でも、落ち込まないで『次どうやったらうまく話せるか』研究してみてください。ぼくの魔法のことば（はじめの音を出やすくすることば）は、心の中で言う「えっと」です。みんなにもそれぞれあると思うから、探してみてくださいね。
- ・吃音があるからって『自分はダメ』なんて、絶対思っちゃダメ！ばかにしてくる人がいたら関わらない。話し方をまねされても、そんなことをする人は放っておいたらいい。『何が善いことで悪いことか』しっかり考えて、善いことをしていれば、周りによい友達が集まってくるからね！

### ～感想～



友達になれて、うれしかった。ぼくの魔法のことばは「あのね」なんだよ。



話し方をまねされた時の対処の仕方が勉強になりました。みんなが笑顔で話してくれて、嬉しかったです。

どの子もいろいろな困り感を抱えながらも、元気に明るく過ごしている姿を見て、私も元気をもらいました。（先輩より）



かぜひき じつぴき  
おくすり きゆうひき  
びょういん はつぴき  
ねこんだ ななひき  
せきこむ ろっぴき  
はらいた ごひき  
すつうは よんひき  
ねつでた さんびき  
さむけが にひき  
かぜひき いっぴき

かぜひき  
あべこべ



### 吃音を知る絵本

\*\*\*\*\*

「うまくしゃべれない  
ぼくは、へん？」

\*\*\*\*\*

北海道吃音・失語症ネットワーク

「小学生のうちから吃音を知る機会をつくる」目的で作られた絵本です。YouTubeで検索すると読み聞かせを視聴することができます。「きつどももつちゃうけど、それでもいいや。ぼくは、ぼく。きつとだいじょうぶ。」みんながそう言えるようになるまでに必要なのは、周囲の理解、応援です。吃音について正しく知り、「ひとりじゃないよ」と味方になってくれる子ども達や「相談していいんだよ」と伝えられる大人達が増えるよう啓発活動を続けていきます。



